

ピヒル森林研修所による現地研修

日本の林業とは違うのですか？

気候風土や地形、林道網の充実度、機械の種類、過去に経験した災害など相違点は多くあります。

しかし、森林を相手に仕事をしているのは同じです。実際に彼らの作業を見ると、驚くほど同じであることに気付くでしょう。



何を学べますか？

彼らは、高度な技術、優れた観察力、そして教育者としての資質を持っています。皆さんが行う作業の問題点を指摘し、現実的な解決策を示せます。

安全に関する厳しいルールと、生産性を上げる方法、とても細かい部分での工夫、あるいは皆さんが知らない技術を教えられるかもしれません。

何についても理由、原理、根拠を示すことができ、それを誰にでも受け入れられる表現で伝えられることが、彼らの最大の技術なのです。

たとえばどんな内容ですか？

実際の研修では次のようなことを実施しました。

- ・ 伐倒方向の決め方
- ・ 受け口、追い口、ツルの関係
- ・ クサビを打つ位置
- ・ なぜ受け口と追い口の高さに差があるのか
- ・ ツル幅を狂わせる繊維方向の調べ方
- ・ オノ目を入れる理由とメカニズム
- ・ 重心のわかりにくい木の伐倒
- ・ 細い木の伐倒
- ・ 樹冠のない木の伐倒
- ・ 掛かり木を回す支点の作り方
- ・ 掛かり木を外す木の滑り台
- ・ 造材で腐れを調べる方法
- ・ 応力が強い状態での造材
- ・ チェンソー目立て台の作り方
- ・ ウインチ集材の基本技術
- ・ 残存木の保護
- ・ ザイルガッセ(ウインチ集材路)による集材

